

令和6年度 香川県立琴平高等学校 学校評価

本校では次の教育方針のもと、本年度の重点目標を掲げ教育活動に取り組んできました。

【教育方針】

心身を鍛え、生涯にわたって学び続ける意欲を養い、地域社会の一員としての自覚と国際的視野を育み、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を目指し、次のような教育方針のもと、家庭や地域との連携を図りつつ、明るく活力に満ちた学校づくりを推進する。

1. 人間や自然を愛する心を養い、心ゆたかな誠意ある人間の育成に努める。
2. 自主、自立の精神を養い、心身ともにたくましい熱意あふれる人間の育成に努める。
3. 広く高い知性を養い、郷土を愛し、社会の発展に貢献する創意に満ちた人間の育成に努める。

【本年度の重点目標】

地域社会の中核として活躍するたくましい人材の育成 — 地域で学び、地域で育つ琴高生 —

- ① 基礎学力の向上 ② 基本的生活習慣の確立 ③ 進路意識の高揚 ④ 地域連携の推進

今年度の教育活動に関して、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケート(生徒・3年保護者・教員)を実施しましたのでその結果を報告します。

また、令和7年2月に学校関係者評価委員会を実施し、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケートの集計結果を提示し、分析と協議を行った結果、下のような学校関係者評価をいただきました。

○学校関係者評価

<生徒からの授業評価・学校評価アンケート等について>

・(質問) 総務の図書貸し出し数が、中間評価では評価がAだったが、最終評価でCになっている。読書離れか？

→ (回答) 2, 3月分の貸し出し数が入っていないのと、図書館が閉まっていた期間があったのが原因だと考えられる。朝読用には学級文庫が置かれている(貸出しカウント外)し、生徒が自分で用意して読んでいる。

・(質問) 教員の評価アンケートの答えがどういう風に出されたのか？

→ (回答) 生徒のことを中心に、教員の立場で答える。質問文に前に「生徒にとって」、「生徒は」があるつもりで答えるようになっている。7割程度の生徒ができていれば「4. おおいにそう思う」を選ぶようになっている。

・(質問) 就職後の生徒の状況は調べているのか？1年後の追跡調査などどうしているのか？

→ (回答) ジョブサポートティーチャーが配置されており、斡旋の時、全員分ではないが状況を聞いている。大学等に進学した人達は、本人たちからの報告がある。各大学から、この生徒がどうかは聞いていない。離職率も問題になっているので、進路指導の方とも話をしたい。

・(質問) 台湾交流では何人くらいが来たのか？

→ (回答) 30人位来た。非常に盛り上がった。今回は県教委から受け入れ可能か照会があつて実施し、姉妹都市などの交流ではない。毎年県内数校が受け入れている。

・(質問) 企業から直接学校へ求人が来ることはあるのか？

→ (回答) 県の求人票で届く。届いたら生徒が求人票を見て、企業見学に行ってから就職試験を受ける。募集開始の期日が決まっている。生徒に直接連絡等をしてはいけないなど高校の求人は厳しい。違反になってもいけない。説明会はある。こういう力をつけておくべきだとか、来年度にこういう風になってほしいとか話を聞く機会はある。

・(質問) 地域の方や、小学生やスポ少などとの交流はあるのか？サッカー部ならサッカーを教えとか。

→ (回答) 以前は、こんびらサッカー塾があったがコロナで途絶えた。中学校の部活が地域移行されていて、同じいこいの郷で練習をしているので少し交流している。

→ (評議員意見) 身近な人が教えると身に付くし地域の小中学生の刺激になるとおもう。

・(質問) 交流というならば、琴高芸術祭で琴平道(探究活動)の発表以外にも部で作品の解説をするなど時間を設けてみてはどうか？

→（回答）生徒がとなると放課後になる。その時に来場者がいないと意味がない。今年は、中讃テレビでインタビューをされたり、アピールをしたりした。

・（質問）まんのう町女性議会に参加したのか？

→（回答）各学年1人ずつ、計3人。昨年、高校生の意見も聞きたいというので参加したら評判が良く毎年参加してほしいと言われ参加した。

→（評議員意見）司会とかもやってみてほしい。行政にも若い意見を入れないといけない。

<教育活動等について（評議員より）>

・先生方が生徒に寄り添うことに気を付けた結果が出ていると思う。心の問題とか最近よく聞くので。3年生がみんなを盛り上げて学校行事とかに満足していることが、アンケートでも評価が高く学校生活が有意義なのだと感じる。

・生徒と先生が同じ方向を向いて、あまり押し付けない。ただ外れていたら引っ張り返す。しっかりとした学校経営をしていると思う。続けて下さい。

・駅で毎日生徒と顔を合わす。挨拶をすると返してくれる生徒が以前よりも増えた。毎日の触れ合いができ、生徒の雰囲気を感じられる。気になることがあれば、駅長として指導もする。クリーンアップ大作戦で清掃をしてくれるのは非常に助かっている。

令和6年度学校評価 自己評価表（校務分掌・学年団）

	本年度の重点目標	具体的な取り組み	実施状況 (中間評価)	取り組みの見直し	実施状況 (最終評価)	評価と来年度の課題
		(数値目標)				
総務	ボランティア活動や体験学習の機会を増加する。	地域との連携強化、ボランティア活動参加の案内。（参加のべ数750人以上）	C	募集のあるボランティアの案内を各ホームルーム教室に掲示する。	B	のべ参加人数571人。募集のあったボランティアに自主的に参加する生徒を増やしたい。
	「朝の読書」をきっかけに、読書活動を推進する。	図書貸出数950冊以上。	A	9月末現在の貸出数が419冊。本に興味を持ってもらうように紹介の仕方を工夫する。	C	貸出数は576冊。もっと生徒のニーズに合った本を購入し、コーナー展示や掲示物を充実させる。
教務	生徒が興味・関心を持って取り組める授業づくりを進めることで、学びを深め、夢の実現につながる真の学力をつけさせる。	ICT機器（特に教育用端末）の有効活用等により、興味・関心を高め、思考力や表現力の向上につなげる。 分かる授業作り:授業アンケート等による適宜改善。アンケートによる授業評価の各項目で「当てはまる＋やや当てはまる」:80%以上。	B	「ロイロノート」の活用は広がっている。タブレットを原則学校保管としたことで、準備できていない生徒も減少した。 9月から3年生の教室に電子黒板が導入され、その有効活用が次の課題である。 授業アンケートは10月実施予定である。	B	生徒からの授業評価は、各項目で「当てはまる＋やや当てはまる」で80%以上を満たしており、数値目標は達成した。 しかし3年生の評価に比べて1・2年生の評価が低いことが気がかりである。なかでも「努力した成果が成績に表れている」「教え方や進め方に工夫を感じる」の項目を高める手立て・工夫を考え、生徒の進路実現につなげていく必要がある。
	地域や家庭との連携を深め、生徒と職員が一体となって活気に満ちた地域に愛される学校づくりを推進する。	H PやInstagramの活用等により、「学校の見える化」や魅力の発信を推進する。 Classiiにより保護者との情報共有を密にする。 1日体験入学参加人数を前年度より増やす。	B	H PやInstagramによる琴高の魅力発信は継続して実施できており、即時性も高まった。 Classiでの情報発信も先生方が細やかに行っている。体験入学の参加人数は、生徒243人⇒238人、保護者76人⇒73人とほぼ横ばいであったが、県外からの参加が3人⇒0人となった。	B	公開授業や異種武道大会、文化部等講演会等の公開行事を行い、来校者のアンケートでも、好評であった。 また台湾の高校生との交流は急遽決まった行事であったが、先生方のご提案やご協力あって生徒たちがパワーを発揮し、また町役場や町観光協会からのご支援もいただき、先方に喜んでいただくことができた。
生徒指導	一人ひとりに応じた指導	担任、学年主任、他の分掌と連携し、生徒一人ひとりの特性や家庭環境を踏まえた指導を行う。 (数値目標なし)	A	引き続き、学年団や他の分掌とも協力し、一人ひとりに応じた指導を行う。	A	先生方のきめ細やかな指導のおかげで、生徒一人ひとりの個性や状況に応じた指導ができた。来年度も続けていきたい。
	ヘルメットの着用数増	ヘルメットの購入を促し、着用する人数を増加させる。 (全校生の5％着用)	B	購入数は多いが、着用数は10名弱。学年団集会等の機会に折に触れて、着用を促す指導を行う。	B	1年生を中心に着用数が増加している。目標の5％（約30名）には届いていないので、引き続き指導し着用者を増やしていきたい。
進路指導	進路意識の高揚を図り、生徒一人ひとりの進路実現を支援する。	進路希望調査で未定と回答する生徒3年生0％、1、2年生10％以内を目指す。	B	第1回進路希望調査では1年生3％、2年生6％、3年生10％の未回答があった。進路ガイダンスなどで進路の目的意識をさらに高め、興味を持たせい。	A	第2回進路希望調査では1年生4％、2年生3％、3年生3.9％の未回答であった。学びの基礎診断で自己採点や振り返りをするなどで、学習に対する意識が向上した。進路相談会や進路見学会を実施し、意識の向上に繋がっている。
	地域の中で自分の役割を果たすために必要となる力を身につけさせる。		B	Handy進路指導室を使い最新情報のキャッチ、自己分析にしっかり取り組みさせ社会人になる意識を持たせた。ミスマッチが起こらないように指導をしている。	A	2年次にHandy進路指導室早めに導入し、ジョブサポートティーチャーと面接をすることで、より適切な進路情報を提案した。県内大学等進学相談会や、中小企業家同友会と連携し企業見学や講演を実施し、地元を知る機会を設けた。
	授業研究・学力向上の取り組みの改善にむけて共通理解を図る。		B	Classiの学習機能トレーニング機能の研修や、小論文についての外部研修を案内するなどして、学力の向上に努める。	B	学びの基礎診断分析会や、研究授業やロイロノートなど教員間で教材の情報を共有し、学力向上に取り組んだ。
保健・相談	校内の美化に努める。ゴミの分別と清掃用具の管理と充実を図る。	ゴミの分別に関して、可燃ゴミの適正な分別を図る。（分別率90％以上）	A	現時点で9割以上の分別ができている。ただ、資源ゴミにできる紙類が可燃ゴミとして出されている場合があるので、資源ゴミとの分別に重点を置きたい。	A	中間評価時と同様に、9割以上の分別ができている。今後は、資源ごみとの分別が課題である。
	生徒の悩みや困り感の早期発見、早期対応。	生徒の多様なニーズに対応できるよう担任や学年主任と連携を図る。保護者の協力や理解が得られるよう、SC・SSWと関係職員の連携体制を工夫する。	B	保護者との連携をはかり、必要な場合は医療機関等との連携を実施するようにする。また、関係職員のケース会を効果的に実施し、内容を支援に生かせるようにする。	A	生徒支援委員会やSC・SSWとの情報交換より、困り感を抱える生徒の情報を共有した。関係職員の連絡を密にし、早期発見・早期対応に努めていきたい。
人権・同和教育	人権LHRの充実	人権LHRの内容の見直し 人権に関して実践行動が取れる人間の育成	B	人権LHRの内容見直しは、部の担当の先生方の尽力で進んでいる。ただ、実践行動の取れる人間の育成のためには、まだまだ授業内容の改善が必要。人権LHRで使用できそうなよい材料を探していきたい。	B	部の担当の先生方のご尽力で、1年間を無事に終えることができた。1年間の人権LHRの内容を概観できた。次年度以降、素地の定着充実と授業内容の精選を進めていきたい。
	生徒の人権に関わる活動の充実	哲学カフェの毎月開催 人権に関する活動の呼びかけ	B	哲学カフェは実施できているが、参加生徒が固定されている。もっと多くの生徒が参加してくれるよう呼びかける。また、JFKを中心に、月に1度程度の人権学習会を計画している。先生方にも参加してもらえそうなものにした。	B	哲学カフェ、人権学習会ともに課題は残りつつもある程度、活動の形はできた。次年度以降は、現地研修や専門の方との対話を交えつつ、より充実した活動にしていく。
	教職員への啓発	教職員向け人権・同和教育だよりの毎月発行 各種研修への呼びかけ	B	校外でのすばらしい研修や講演会に出席させていただいているにも関わらず、その内容を先生方にうまく伝えることができていない。大切なことを精選し、人権だよりなどできちんと啓発していきたい。また、先生方にも参加してもらえそうな講演会があれば呼びかけたい。	B	中間報告同様、研修や講演会で学んだ内容の言語化に苦しみ、学んだことを十分に先生方へ還元することができなかった。自身の知識不足もあるため、より知識を得て、先生方に還元できるようにしていきたい。先生方には、研修・講演会に積極的に参加いただけた。次年度以降も研修・講演会の案内をしっかりとアナウンスしていきたい。
特別活動	特別活動に積極的に参加することを推進し、協調精神や自己肯定力の育成を図る。	部活動参加を積極的に呼びかけ、部活動入部率を80％以上にする。	B	入部率が減少傾向にある。部活動での取り組みが、自己の成長を促し、進路においてプラスとなることなどを生徒に話す機会をつくる。	B	運動部文化部ともに大きな変化はみられないが、部活動入部率72.5％と3.4％減少した。部活動の魅力を伝え、新入生や在校生の入部を促し、入部率を高めていきたい。
	学校内外の活動を通して、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。	各行事における生徒の役割を明確にし、事後アンケートの「行事・クラスへの貢献度」A（貢献できた）を80％以上にする。	B	学校行事に積極的に参加する生徒が多く、上級学年の生徒が行事を盛り上げる場面が見られ、活発な雰囲気となった。ボランティア活動など参加意識を高めるような呼びかけをする。	A	学校行事に積極的に参加96.1％、クラス活動や学校行事へ貢献できた84.8％、ある程度役割を果たせたと感じている生徒が多い。今後は生徒の主体性を伸ばしつつ、達成感・充実感を味わえる行事展開をしていきたい。
1年団	基本的な学力・マナー（時間を守る、服装等）を身に付けさせる。	漢字テスト/英単語テスト合格率80％以上。 頭髮・服装違反：5％以下	A	合格率漢字テスト82％、英単語テスト86％で目標に達している。継続させたい。	A	漢字テスト、英単語テストともに目標に達している。
			B	頭髮・服装違反8.7％、規範意識を高めさせる。	B	頭髮・服装については、規範意識を高めさせられるよう、継続して指導を行う。
2年団	基本的な学力・マナー（時間を守る、服装等）を身に付けさせる。	漢字テスト/英単語テスト合格率80％以上。 頭髮・服装違反：5％以下	C	合格率漢字テスト74％、英単語テスト73％で目標に達していない。努力させたい。	B	漢字テスト67％、英単語テスト76％、自主的に学ぶ習慣の定着が課題である。
			C	頭髮・服装違反6％、規範意識を高めさせる。	A	頭髮・服装違反4.5％、規範意識が高まるよう継続して指導を行う。
3年団	自ら考えて学習・行動できる姿勢を身につけさせ、進路に向けて自ら行動する。	漢字テスト/英単語テストブレテスト平均点70点以上。 1学期懇談時に全員進路希望先決定。	B	漢字テスト/英単語ブレテストに対する学習定着ができず目標に達していない。進路はほとんどの生徒が受験先を決定した。	B	漢字/英単語テスト・ブレテストに対する学習定着ができない生徒もいて目標点に達しなかった。進路はほとんどの生徒が決定した。

令和6年度 生徒からの授業評価

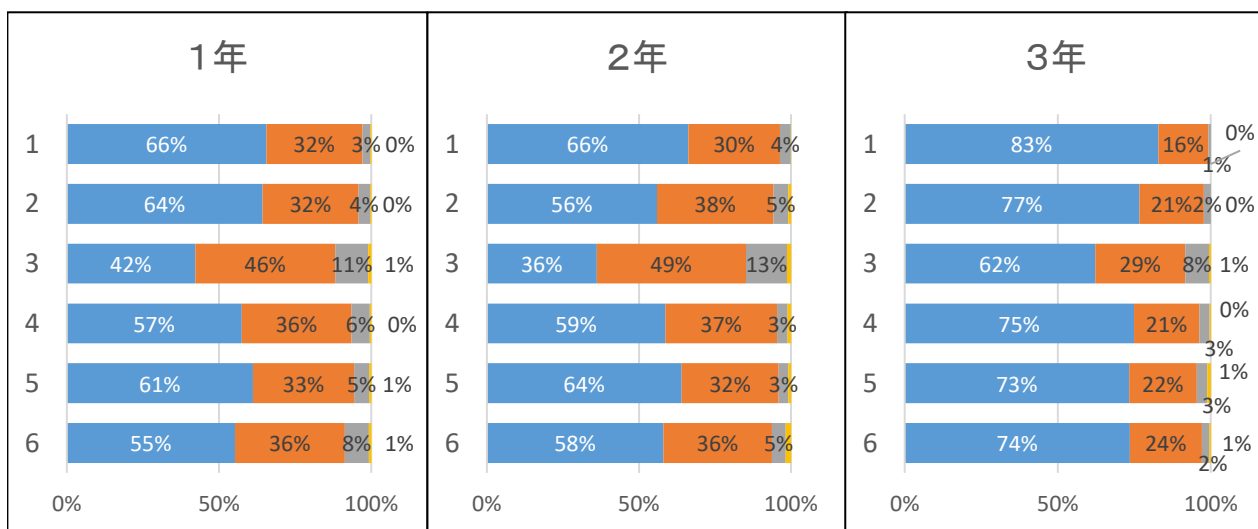
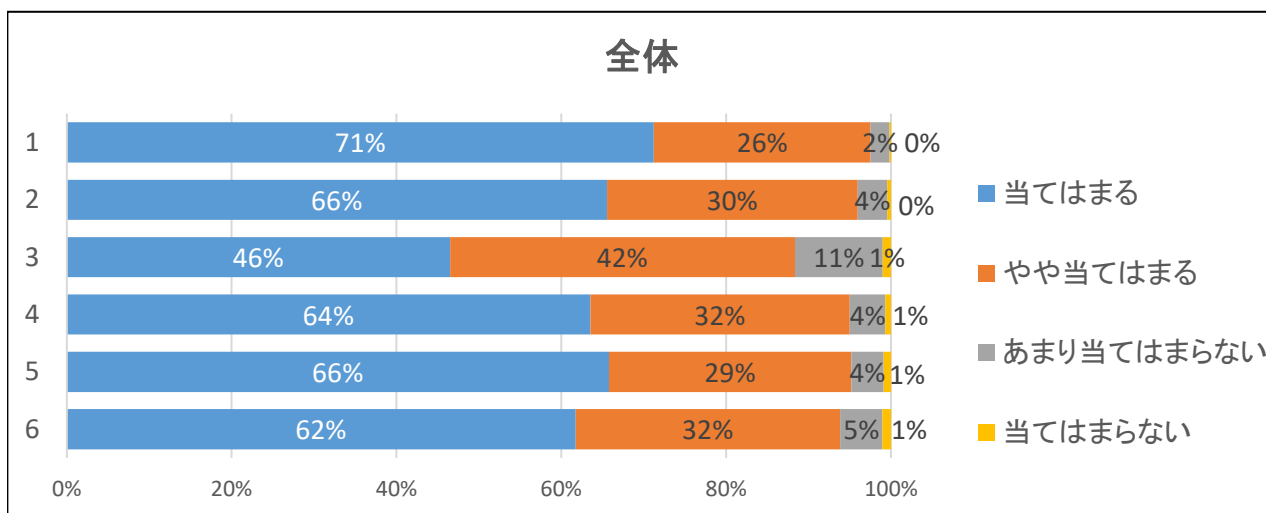
令和6年10月実施

【質問事項】

自己評価	1	授業に集中してまじめに取り組んでいる
	2	授業の準備する、課題を期日に提出する、予習復習をするなど、努力をしている
	3	努力した成果が成績に表れている
授業評価	4	先生の説明や板書はわかりやすい
	5	授業の進度はちょうどよい
	6	教え方や進め方に工夫を感じる

【選択肢】

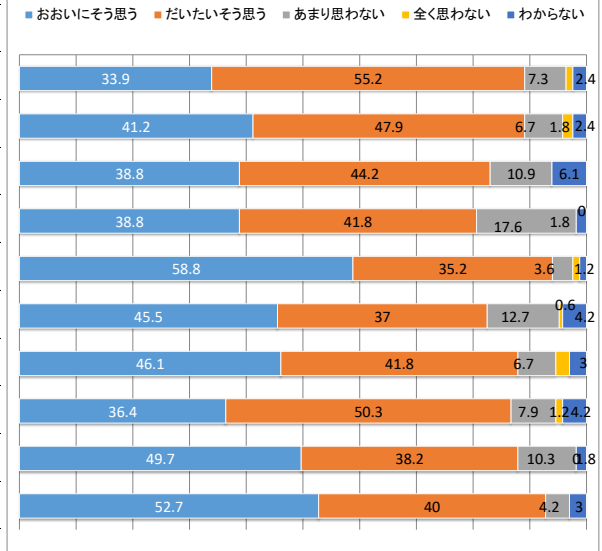
①	当てはまる
②	やや当てはまる
③	あまり当てはまらない
④	当てはまらない



令和6年度学校評価アンケート(令和7年1月実施)

【保護者】

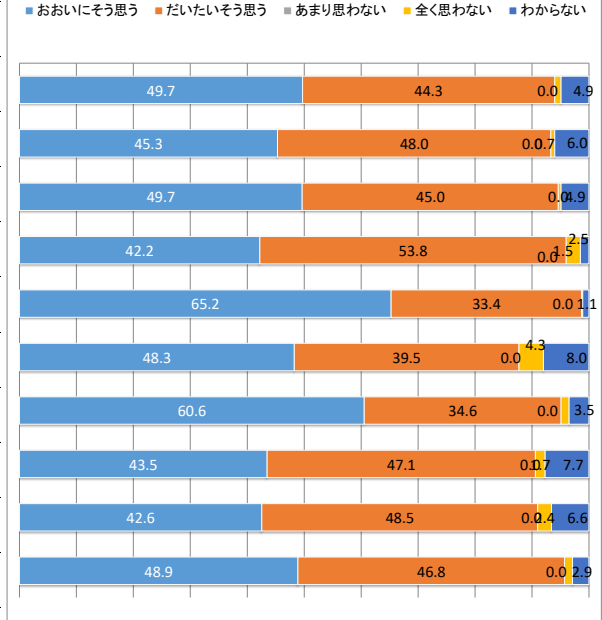
		おおいにそう 思う・だいたい いそう思う (%)	平均値 (4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	89.1	3.2
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	89.1	3.3
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	83.0	3.3
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	80.6	3.2
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	94.0	3.5
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	82.5	3.3
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	87.9	3.4
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	86.7	3.3
9	学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	87.9	3.4
10	琴平高校での高校生活に満足している。	92.7	3.5



※データは端数処理をしています。

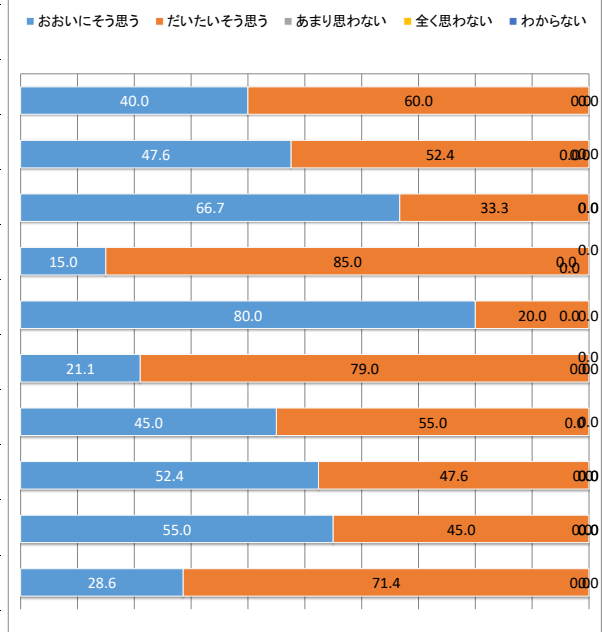
【生徒】

		おおいにそう 思う・だいたい いそう思う (%)	平均値 (4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	94.0	3.5
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	93.3	3.5
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	94.7	3.5
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	96.0	3.4
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	98.6	3.7
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	87.8	3.4
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	95.2	3.6
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	90.6	3.4
9	学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	91.1	3.4
10	琴平高校での高校生活に満足している。	95.7	3.5

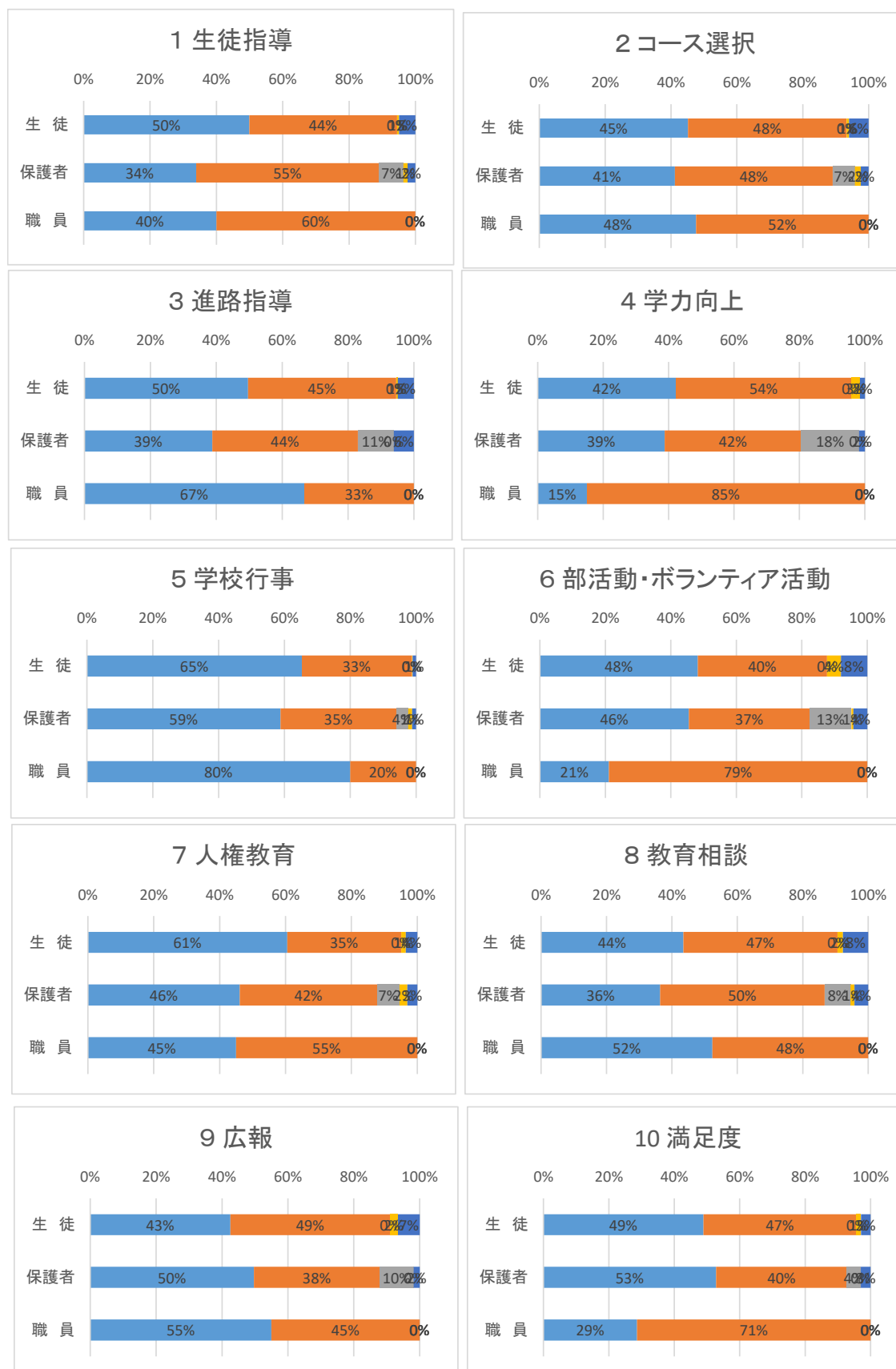


【教員】

		おおいにそう 思う・だいたい いそう思う (%)	平均値 (4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	100.0	3.4
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	100.0	3.5
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	100.0	3.7
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	100.0	3.2
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	100.0	3.8
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	100.0	3.2
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	100.0	3.5
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	100.0	3.5
9	学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	100.0	3.6
10	琴平高校での高校生活に満足している。	100.0	3.3



令和6年度 学校評価結果 比較



・各項目において生徒と保護者の満足度は高く、ほぼ一致しているように思う。
 ・10.高校生活の満足度では、生徒・保護者に対して職員の「おおいにそう思う」が低く、もっと生徒に頑張ってもらいたいと思っていることが推察される。